

あすなるクラブ50周年

余塵

会員一人一人が底力を発揮

して、釧路の立派なヒノキになろう」と、異業種交流の草

分け「釧路あすなるクラブ」が創立50周年を迎えた。その記

念式典と祝賀会に出席の機会を得た▼昭和37年2月18日、19人の有志によって設立され、その設立日にこだわって記念式典が催された。札幌からも2人のOB会

員が駆けつけた。旗揚げ時から取材し、勉強会のようすなどが本紙でもよく取り上げられていた▼弊社の創業者・片山睦三

社長が残したものを読むと「発足当時、呼ばれたり、押しかけたり。小生なりに

かなり交流があった」と述懐、30周年の挨拶文には、地道ながら確かな歩みが続けるあすなるクラブに「今から40年、50年記念のお祝いの言葉を用意しておくつもりだ」と記している▼片山社長の座右の銘

「郷土ありて我あり」とあすなるクラブの信条「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す」に共通の強い思いを見いだし、「この御旗をかざす限り、永遠に栄えるよ」と

言い切っている▼そして半世紀、式典で表彰のチャーターメンバー・今田英三さん、40年在籍会員の泰地秀信さんらから

「片山社長は先見の明があったね。この席におられないのが残念」という言葉を

いただいた。あすなるクラブは、決して派手ではないが、釧路市の経済発展を願

い、研修を重ねる、「継続は力成り」を

実践している団体だった。(高橋 将哲)